

里山BONSAIは、地域性（本州中部太平洋側地域）在来種の苗木の寄せ植えです。
基本的な手入れ方法は以下をご参考いただき、愛情たっぷりにお手入れをお願い致します。

■設置場所

天然の里山や社寺林の種から育てている苗木なので、基本的には外置きです。

■水遣り

水遣りは、苔が乾いてきたら、ハス口付きのジョウロ等を使ってたっぷりと与えて下さい。水遣りのポイントは、「土がしっかり乾いてから → あげるときにはたっぷり」とです。毎日、少しずつ水遣りするよりも、メリハリをつけてあげた方が、植物が元気に育ちます。特に、新芽の出ってくる春～初夏にかけては、植物が水を欲しがると季節です。葉がしなりと下を向くようであれば、水の量を増やして下さい。植物の状態を見ながら、こまめな水遣りを心がけましょう。

■季節毎の注意点

夏：直射日光の強い場所は避け、風通しの良いところに置いて下さい。

冬：置き場所は、夏と同じでOKです。

■病害虫防除

基本的に、病害虫のつきにくい樹種で構成していますが、場所により、アブラムシやハダニなどが発生しやすくなります。そのため、風通しの良い場所で管理されることをおすすめしています。もし、害虫が発生してしまったら、葉から水をたっぷりかけて害虫を洗い流して下さい。それでも駆除しきれない場合は、植物用の生薬エキス等を散布して下さい。

■肥料

もともと、天然の里山に生えている植物ですので、肥料は特に必要ありません。ただし、狭い鉢の中で育てているため、栄養分が不足することもあります。「葉の色が悪いかな？艶がない？葉の色が薄くなってきた？」と感じたら、有機質の粒状の肥料(発酵油かす等)を購入し、土の中にそっと押し込むようにして、施肥を行ってください。

苔がある場合は、苔の上に肥料を置いてしまうと、肥料焼けを起こしてしまいますので、苔をめくり土の中にそっと押し込むようにして、施肥を行ってください。

■剪定

特に必要としませんが、「葉が繁りすぎたかな？」と感じたら、適宜、剪定していただいても構いません。自然な雰囲気が増え、損なわれないよう、重なり合っている枝のどちらかだけを透くようにすると良いでしょう。初心者の方は、秋～冬の季節に剪定されることをおすすめします。

■器

間伐材や端材をそのまま整形しているだけなので、乾燥するとヒビが入ります。器にもたっぷり水とかけてください。